

(1) 学校経営の改革方針における今年度の重点取組についての評価結果

項目	行動計画の目標・評価方法	達成状況・評価結果	具体的取り組みに関する成果や課題
	<p>基礎学力</p> <p>◎国語力・数学力・英語力を基本に、各教科・学科で、生徒に身につけさせるべき基礎学力の定義（内容）と取組方法を明確にする。それらのうち、本年度すぐに実施できるものは実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 取組状況の指標 各科の基礎学力の定義と指導方法が明確になっている。 達成状況の指標 基礎学力測定テストの偏差値平均が昨年度より3ポイント以上上昇している。 	<p>【取組状況の評価結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 国語・数学・英語の各教科では、基礎学力向上の取組を行っている。また、学習指導委員会を中心に学校全体での指導方法を議論しているが明確な方向性は示せていない。 <p>【達成状況の評価結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 授業を通して基礎的な知識や技術が身についたと80%以上の生徒が感じている。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 基礎学力の定着をはかるためには、それぞれの授業で興味・関心を持たせられるような取組が必要。また、家庭学習等、自主的な学習活動を身につけさせることも必要である。
	<p>社会的マナー</p> <p>◎来客に対する挨拶や、学校外へ出た時のマナーを徹底する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 取組状況の指標 登校時の声掛け運動が毎日行われている。校内外のマナー指導が適宜行われている。 達成状況の指標 来校者への挨拶の徹底度、来校者からの評価、デュアルやインターンシップ先の事業所からの評価を指標とする。 	<p>【取組状況の評価結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 登校指導については、職員をグループ分けし、朝の8：30から1限目授業開始まで毎日行った。 下校指導も生徒指導を中心に随時行った。 <p>【達成状況の評価結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 挨拶のできる生徒が増えてきた。 	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 登校指導時の声かけで、服装の乱れが改善されつつある <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 少数の生徒のだらしない服装の指導を徹底する必要がある。
	<p>進路指導</p> <p>◎進路に関するガイダンスや相談、情報提供及びキャリア教育を充実させ、早い時期から自己に適した進路を主体的に選択できる力を養う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 取組状況の指標 学年別進路ガイダンスが適宜開催されている。生徒が企業の方や社会に出た先輩の話聞く機会がある。「進路だより」等によって生徒や保護者に情報が十分提供されている。 達成状況の指標 進路指導に関する生徒の満足度が昨年度より上昇している。 <p>◎進路希望実現に向け、事業所訪問や求人開拓、大学訪問等に力を入れる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 取組状況の指標 事業所への訪問数が昨年度を上回っている。 	<p>【取組状況の評価結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 学年別進路講話の実施 1年次生（4月、1月）、2次生（4月）、3年次生（4月、6月、9月） 学年別進路ガイダンスの実施 1年次生（9月、2月2回） 学科別進路ガイダンスの実施 2年次生（1～3月4学科）、3年次生（6～7月4学科） 事業所訪問の実施 前年度就職実績の事業所（伊賀管内、滋賀県）訪問および女子の求人開拓（4～6月上旬） 保護者向け講話の実施 2・3年次生（5月）、3年次生（12月） 3年次生の就職・進学模擬面接指導の実施 進路だより発行（5回） <p>【達成状況の評価結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 3年次生のアンケート結果より、進路に関する講演会等の充実87.7%、面接指導の充実85.0%、自己実現の達成84.7と回答 	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 1～3年次生への首尾一貫した進路指導が進みつつある。 各科の状況に合わせた進路指導が行われた。 事業所訪問により、卒業生の状況、事業所の求める人物、求人計画等の情報収集及び新規開拓ができた。また、大学等の入学説明会に参加し入試情報を集め生徒の指導に役立てた。 模擬面接指導について、就職希望者、進学希望者とも実施し当初の目的を達成した。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 就職環境の厳しい状況を保護者、生徒が理解し、生徒自ら対処する力を養成する必要がある。 基礎学力、コミュニケーション能力の向上を学校全体で取り組む必要がある。 就職、進学希望者の比率によりクラスのガイダンス実施の方法を検討する必要がある。 模擬面接を学校全体で早期から取り組む必要性が増していると共に教職員の面接員としてのスキルのレベルアップも必要である。

<ul style="list-style-type: none"> 達成状況の指標 学校幹旋を希望する生徒の内定率100%、進学希望者の100%希望実現。 	<p>(満足度は昨年度とほぼ同数の結果)</p> <ul style="list-style-type: none"> 保護者アンケートより、面接指導の充実78.0%、自己実現の達成80.9%と回答 学校幹旋の就職希望者の内定率100%達成 進学希望の受験者100%合格達成 	<ul style="list-style-type: none"> 昨年同様に学科やコース、男女によって求人数に偏りがあり、生徒の進路実現に向けて事業所の連携と求人開拓が必要である。
<p>指導力向上</p>		
<p>◎教員相互の授業見学や授業研究を通して、「わかる授業」「魅力ある授業」を構築する。あわせて授業規律を徹底する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 取組の指標 公開授業に100%の教員が参加している。各教科における1回以上の研究協議が実施されている。 達成状況の指標 授業に関する、生徒満足度が3%以上上昇している。 	<p>【取組状況の評価結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 授業公開を3回実施。 全員の教員が小グループで授業公開・見学をすることで、生徒の反応、授業での工夫点、などを意見交換し改善にすることをめざした。 <p>【達成状況の評価結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 70%の教員が授業公開・見学に参加した。 授業に対する満足度は50%以上ある。 	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 小グループにすることによって、お互いに都合の良い時間を見つけることができ、またグループ内だけなので気軽に参加できた。全体でするより、参加率が上がった。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> その後の全体での話し合いでは、参加することに意味のある内容にする必要がある。
<p>検定合格・資格取得</p>		
<p>◎資格取得や検定合格に向けての支援を強める。</p> <ul style="list-style-type: none"> 取組状況の指標 検定対策として勉強会や補習が実施されている。 達成状況の指標 検定や資格の合格数が昨年度より増加している。 	<p>【取組状況の評価結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 検定・資格カレンダーの発行3回 各教科、各学年、各検定における勉強会や補習を実施した。 <p>【達成状況の評価結果】</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 各種検定、資格試験に述べ456名が受験し、140名が合格した。(合格率30.7%) <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 各教科、各科等での勉強会や補習等を行っているが、学校全体の方向性が明確でない。
<p>部活動</p>		
<ul style="list-style-type: none"> 達成状況の指標 昨年度より5%以上多くの上級生が部活動を続けている。 部活動に関する生徒満足度が70%以上である。 	<p>【取組状況の評価結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 部活動に取り組んでいる生徒は、将来の進路に向けて、活発に活動している。 <p>【達成状況の評価結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 3年間通して部活動をしている生徒は減少ぎみである。 満足度は1年次70.6%、2年次62.5%、3年次70.4% 	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 全国や東海レベルにつながる活動している部活動もあるが、さらに多くの部活が活性化するようにしていくことが課題である。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 女子の部活動への加入が低い。
<p>相談活動・家庭訪問</p>		
<p>◎生徒の小さな変化を見逃さず、悩みに寄り添った教育相談や家庭訪問を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 達成状況の指標 教育相談に関する生徒満足度が昨年度よりも上昇している。 	<p>【取組状況の評価結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 相談件数から見ても、生徒にとって安心できる場所となっている。 <p>【達成状況の評価結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 満足度 2年生 61%→68% 3年生 69%→72% 	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 2、3年生については、相談ができる場所として活用している。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 1年生については、相談件数が少なく、教育相談というシステムをより周知する必要がある。
<p>人権学習</p>		
<p>◎課題となっていることをテーマとした人権LHR等を通して生徒の人権感覚を高める。</p> <ul style="list-style-type: none"> 取組状況の指標 人権学習や人権講演会を年間3回以上開催する。 達成状況の指標 人権学習に関する生徒満足度が昨年度よりも上昇している。 	<p>【取組状況の評価結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 生徒対象の人権講演会、人権学習。各年次 2回または3回実施。 教職員研修、基礎学力を身に付ける学習環境づくり・人権教育学習資料を使った研修 <p>【達成状況の評価結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 人権学習に関する満足度は80%を超えている。 	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 生徒の人権教育学習資料を使ったの職員研修では実践的なものであったのでとても役立つものであった。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 生徒の人権学習に対応する職員の研修会を企画し、適時に実施する必要がある。

働きやすい職場づくり		
<p>◎総勤務時間の縮減や休暇の取りやすい職場づくりに取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・達成状況の指標 教員満足度が昨年度より3%以上上昇している。 <p>◎風通しのよい職場づくりに取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・達成状況の指標 昨年度に比べ情報共有が進んでいると教職員が感じている。 	<p>【取組状況の評価結果】 満足度は低下している。</p> <p>【達成状況の評価結果】 情報共有は進んでいるとはいえない。</p>	<p>【成果】 情報共有の有効な手立てが見出せておらず引き続き取り組む必要がある。</p> <p>【課題】 職員の多さも情報共有が進まない原因の一つであるが、それ以上に有効な方策を見つけることが課題である。</p>
学科間連携・地域連携		
<p>◎生徒が地域に出て学ぶ機会や地域の方の校内での指導の機会を増やす。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・取組状況の指標 地域と連携した取組が昨年度以上に行われている ・達成状況の指標 生徒の満足度の上昇及び地域の評価を指標とする 	<p>【取組状況の評価結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「若き巧み育成プロジェクト事業」を受け、地域との連携した事業が昨年の14に対し、19増の33の取組を行うことができた。 <p>【達成状況の評価結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・根拠となる数値はないが、新聞掲載記事が増え地域から信頼を得つつあると思われる。 	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域との連携や学科間連携が増え、生徒が校外に出て活躍する姿を多く見ることができたことは大きな成果である。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本来生徒が話し合いながら主体的に取り組むとよいが、教員主導で計画してきたことが課題。
情報発信等		
<p>◎学校の取り組みや生徒の様子などを保護者や地域に発信するとともに、要望や意見を聞く機会を設ける。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・取組状況の指標 ホームページが頻繁に更新されている。自治会だよりが年間4回以上発行されている。 ・達成状況の指標 昨年度より多くの方がホームページにアクセスしている。 <p>◎生徒が保護者や地域に向けて学習成果を発表できる機会を設ける。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・取組状況の指標 「白鳳Cafe」や実習製品の販売、展示等の機会を年間4回以上開催する。 ・達成状況の指標 イベント等への参加者の数や満足度を指標とする 	<p>【取組状況の評価結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自治会だよりは10回を発行。 ・ホームページも行事等があるごとに頻繁に更新している。 ・「白鳳Cafe」を4・12月に、工芸デザイン科の展示即売会を3月に、その他に文化祭、伊賀市のイベントを通じて販売・展示を行った。 <p>【達成状況の評価結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域への情報を発信することで、学校の様子を的確に伝えることができた。 	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発信先への訪問により、本校の取り組みを理解してもらっている。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・継続的な取り組みによりさらに連携を深めたい。

(2) 組織の状態の評価結果

アセスメントから明らかになった状況	
強み	<ul style="list-style-type: none"> ・各科の専門性を活かし、生徒一人一人の状況を把握し、進路実現に向けて、きめ細かい指導を行っている。 ・家庭訪問、PTA活動、部活動などを通じて、保護者との連携を密にし、信頼関係を構築している。 ・地域の期待に応えられる学校として、いろいろな発信や活動を行っている。
弱み	<ul style="list-style-type: none"> ・学校のビジョンに対して、共通理解が不十分である。 ・組織が大きいと、各科の専門性や組織力を活用できていない。 ・教員間のグループ討議で意見交換を行ったが、まだまだ意思疎通が十分とはいえない。

(3) 学校関係者による評価結果

学校関係者による評価結果	
関係者評価	<ul style="list-style-type: none">・HR棟で行われる授業と専門学科の棟で行われる授業では、生徒の取組み姿勢が違う。HR棟は掃除が徹底されていないところもあり、それらを含め差がなくなるとよいだろう。・基礎学力はさまざまな面で非常に大事な要素である。・来訪者に対する挨拶など評価できる点が多い。・地域の活性化に向け伊賀白鳳高校に期待するところは大きい。

(4) 組織力向上のための取組（改善策）

次年度に向けた取組
<ul style="list-style-type: none">・各科の特性を出すためにも、くくりをやめて、1年次初めから、マナーを身につけさせることが、一番である。・本年度、実施した教員間のグループ討議を継続して行い、より対話の機会を増やす。また、情報発信を行い、情報共有を深める。